8
2
FRI

鶴岡市と鶴岡商工会議所の意見交換会

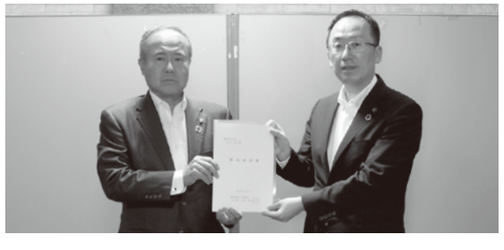
■場　所／新茶屋

皆川市長をはじめとした鶴岡市幹部の皆様と、鶴岡商工会議所正副会頭・各部会長・青年部会長・女性会会長との恒例の意見交換会が開催されました。

意見交換会では、はじめに、鶴岡市側より①今年度の主要事業について、②鶴岡商工会議所要望事項への対応について、鶴岡商工会議所側より今年度の事業方針及び事業計画について説明。その後、事前提出テーマである、①庄内空港の利便性強化による地域活性化、②日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の完成目標年次明示の要望強化、③総合的観光推進都市を目指した具体的戦略の策定・推進、④地域企業の人手不足倒産を回避するための緊急対策の実施、⑤天神祭の新たな魅力づくり、活性化に向けた取組みの推進、⑥新学校給食センター、新図書館の整備に関する地元事業者活用の徹底について、鶴岡市側より回答がありました。続いて正副会頭より、中心市街地の活性化のためのエリアマネジメント組織について、新図書館整備事業基本構想について、遊佐・酒田沖の風力発電事業の経済効果について、ＤＥＧＡＭ鶴岡ツーリズムビューローの強化について等、活発な意見交換が行われました。

また、意見交換会冒頭には、大雨災害の影響に対する事業者支援の実施を求める緊急要望を皆川市長へ手交し、大雨災害による風評被害により、温泉地で宿泊のキャンセル等が発生していることから、正しい情報を伝えていただきたいこと、宿泊、飲食、物販等、広く影響を受ける関連事業者に対する支援等を求めました。

物価高騰・人手不足対策等、鶴岡市の事業者にとって課題が深刻化しておりますが、企業存続・雇用維持・産業経済回復に向け、なお一層の鶴岡市との連携強化に努めて参ります。



チャレンジする事業所を紹介 挑戦 vol.7

ふくファーマシー 合同会社

代表社員
ふくふく薬局 管理薬剤師
佐藤 秀実さん

事業所紹介

福島出身で東日本大震災を機に鶴岡に移住し、調剤薬局に勤務しておりましたが、縁あって薬局の事業承継のお話をいただき創業いたしました。当社は開業して2年の調剤薬局ですが、事業承継により調剤薬局を引き継ぎ、現在の場所で18年間地域に根差した薬局です。

ふくふく薬局の名前は、「皆様に福が訪れますように」との願いを込めて付けました。また、覚えやすく縁起も良いと考えたのが理由です。来局される患者様は高齢者の方が多いですが、お子様から高齢者の方まで様々です。安心してお薬を飲めるよう、患者様とのコミュニケーションを通して適切な薬剤と薬物治療の効果や副作用の情報提供を行っております。

やまがたチャレンジ創業応援事業を活用した経緯と活用内容

創業にあたり、まずどこから始めたら良いかと考えたときに、自営業をしている方が「商工会議所に相談した」と話していたのを思い出し、相談に伺いました。その際に助成金のことを教えていただき、助成金は従業員の雇用費用に活用いたしました。

今後の取組み・目標

今後は、災害時や新興感染症の流行時にも医療提供が可能な薬局のさらなる体制の整備や、より良い医療を提供するための医療ＤＸの推進をしていきたいと考えております。そして、医療を通じて、ご来局いただく患者様、従業員、そして関係していただいている皆様にとっての「福」を感じていただけるような魅力ある薬局に育てていきたいと考えております。

薬局で聞いて
飲んで効いて
良い服薬に

ふくふく薬局

住　　所／山形県鶴岡市本町2丁目16-1
電　　話／0235-35-1880
営業時間／月・火・水・金・土…8:30～18:00
　　木……8:30～12:30
定 休 日／日・祝日

◀HP

令和7年度

鶴岡市への要望事項

9月26日の常議員会にて議決された計27項目からなる、令和7年度に向けた要望書を、10月4日に鶴岡市へ提出しました。

要望書提出後の意見交換においては、急激な円安・資材高騰等、人手不足等への対応や、インフラ整備、中心市街地の活性化等、多くの意見が交わされました。主な要望事項等は以下の通り。

【 重点要望事項 】1.庄内空港の利便性強化による地域活性化
●庄内空港羽田線の常時5便化に向けた羽田空港発着枠政策コンテストが2027年度まで延期されたことを受けての戦略的対応
●庄内空港の滑走路延長(2,500m)に関し、山形空港との取り合いに後塵を拝することの無いよう戦略的に取り組むこと
●庄内空港ビルの国際線と国内線の動線分離など機能強化に向けた基本計画策定の促進と事業化スケジュールの明確化

2.日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の完成目標年次明示の要望強化
3.災害に強い地域づくりの推進について
●頻発する大雨等による災害から市民の生命・財産・暮らしを守るとともに、運輸・物流の寸断や観光等への打撃など地域経済への影響を減少するため、国土強靭化対策の充実を国・県に強く求めること
●庄内空港や日本海沿岸東北自動車道、国道47号線、112号線等の整備による早期防災機能の強化並びに陸海空の交通インフラ早期整備による人流と物流の強化
●中央工業団地の排水・除雪機能の早期整備・強化

4.新図書館の整備について
●新図書館の整備に当たっては、中心市街地の賑わいやまちなか観光の振興に資する多機能型施設となるよう配慮すること

5.賃上げ、人手不足、2024年問題への対応に関する支援強化について
●地域中小事業者が対応に苦慮している賃上げ、人手不足の課題及び2024年問題への対応について、支援策の充実を図るとともに、施策の拡充を国・県に強く求めること
●外国人雇用を促進するため、外国人雇用に関する支援機能、雇用外国人を協同でサポートする機能の整備(住宅・交通等)

6.食文化を活かした経済活性化を始めとする地域内経済循環の促進について
●ユネスコ食文化創造都市の認定から10年となるが、観光・飲食・物産等の地域経済への波及効果が進んでいない現状を打開するため、官民連携による施策の重点化支援策を推進すること(地域産物の高付加価値化、食とまちなか観光の融合など食文化観光の具体的振興、鶴岡遺産の認定等具体策の思い切った創設・推進)
●地域内経済循環の促進が叫ばれており、地域商品の地域内からの販売・購入等を促進する地産地消商品券キャンペーンや情報発信等の対策を官民連携で進めること
●遊佐・酒田沖の洋上風力発電事業により大きく期待される経済波及効果が庄内全域に及ぶよう働き掛けを強めること

7.地域交通の確保について
●観光や飲食店の再生・活性化の足かせとなっているタクシー不足等地域交通の課題を解決するための支援策の充実
●市内循環バスの利便性向上、社会基盤としての運輸公共交通を支える人材の確保に関する支援の充実

Ⅰ. 急激な円安、資材等高騰、人手不足等の影響に対する支援強化について

1.市内事業所の経営安定化に向けた対策の強化
●燃料、資材、電気料金等の物価高騰の影響を受けた事業者に対する国・県と連動した経営支援強化
●公共事業、委託、調達等に関して、急激な燃料、資材、電気料金等の現状に応じた適正価格での発注、速やかな「スライド制」の適用
●建設資材高騰の中で、市のリフォーム補助制度等の補助金予算枠の拡大
●地域企業の実状にあった業態転換、事業再構築、事業承継のための補助金の新設・拡充
●今後さらに求められる生産性向上、働き方改革に向けた設備機器導入への補助金支援
●地域企業の実情にあったＤＸ推進支援及びデジタル人材の確保支援
●事業者における脱炭素、ＳＤＧｓへの具体的取り組み方に関する指導支援
●工事、物品及び役務等の地元事業者への優先発注、契約に係る入札参加要件の精査

Ⅱ. 人口減少、少子高齢化対策の推進

1.地域の産業経済を支える労働力の確保について
●近県、首都圏等の大学より地元企業へのインターシップやゼミナールなどで地域課題や地域の活性化について探求している学生を積極的に受けいれる体制(地方創生インターシップ)の整備支援
●高校生の探求学習に地域、企業、行政が一体で協力支援していく仕組みづくり
●新たなインセンティブの制度化によるＵＩターン促進の本格的取組み推進
●若者に魅力あるまちづくりの推進(若い人が集まれる、遊べる、楽しめるエリアづくり、高校生が残りたいと思える魅力づくりと発信、若者を引き付けるイベントの一層の活性化、若い人の活動、チャレンジを支援する制度)

2.産業人材・若手人材の育成について
3.少子化対策の拡充について
●子育て世代がより労働しやすい環境の具体的整備

Ⅲ. 社会資本の整備促進

1.日本海沿岸東北自動車道の整備促進について
2.東北横断自動車道酒田線の整備促進について
3.市内の交通網の整備促進及び安心・安全性の向上について
4.庄内空港の利用回復及び機能拡充について
5.羽越本線の高速化及び定時運行、羽越新幹線の整備促進について
6.災害に強い都市基盤の整備について

Ⅳ. 中心市街地の活性化

1.第３期中心市街地活性化基本計画の推進に向けた事業の展開について
●令和５年度に策定した中心市街地将来ビジョンを具現化するための具体的事業を積極的に盛り込み年次的に推進すること
●ＴＭＯとの連携による計画推進(チャレンジショップ事業、若手後継者育成、商店街への観光誘導、商店街組合の再構築)

Ⅴ. 産業の振興

【 全　般 】1.円滑かつ適時適切な施策の推進について
2.会議所活動への支援拡充について
3.国・県及び市の支援施策の適切な情報提供について
●商工関係団体、金融機関等との情報共有及び連携の具体的推進
●インボイス制度対応への継続的支援及び導入経費への助成

4.酒田港の活用促進と機能強化について
【 工業関係 】
5.企業の立地及び設備投資等に係る基盤の拡充について
6.先端生命科学分野における産業集積及び産学官連携の促進について
【 観光関係 】7.まちなか観光の推進について
●桜小祭りの内川ライトアップを新たな観光の目玉にする支援

8.DMOを核とした観光の推進について
●市の観光振興に関する中長期戦略指針の提示及び新たな地域観光を支える観光専門人材の育成
●インバウンド受入に向けたクレジットカードや交通系電子マネー等のキャッシュレス化への支援

【 建設関係 】9.公共事業の確保及び改善について
●入札における総合数値へ加点となる主観的審査事項(子育て支援、ISO、環境)の適用については、企業は経費と労力を掛けているものなので、継続して反映すること
●働き方改革に沿った適正な工期及び工事金額の設定
●工事残土(再生材・発生土)に関する県と同様の取扱い運用

9
27
FRI

鶴岡市への緊急要望

令和6年9月21日から下越地方を襲った大雨の影響により、特急いなほや快速海里等が運休となったことを受け、観光客のアクセスに大きな障害を与え地域の観光関連事業者に深刻な影響が生じるものと懸念されることから、早期の復旧とともに、復旧までの間の代替バスの運行等対応策について、ＪＲ東日本と協議を進めていただくよう緊急要望を行いました。ご関係者の鋭意努力により10月6日には全区間で運転が再開され、無事に秋の観光・行楽シーズンを迎えることができました。